

モズク製品など試食

JF 沖縄漁連

首都圏フェアで売込み

JF 沖縄漁連は16日から4日間、東京で開催された「第3回ジャパンフィッシャーマンズフ



来場者にモズクの試食を勧める県漁連の亀谷幸夫漁政課長㊦

「エスティバル2017」恩納村漁協、JF佐敷中に出展。特産のモズク製城漁協、JF伊平屋漁協品などの首都圏売り込みに力を入れた。JF渡嘉敷漁協のモズクやアーサを使ったスープ、茶漬け、さらには海苔や県下漁協のうちJFぶどう、マグロジャッキー

1などが試食を交えて紹介、販売された。立ち寄った来場者は商品を次々と買い求めていたが、「モズクは健康にもいい食材。よく利用している」「乾燥モズクは保存もできると、いろいろな使えて便利」と評価していた。

漁連は沖縄県もすぐ養殖業振興協議会と以前から連携して、首都圏だけでなく各消費地で消費拡大に積極的な活動を行っており、15万人を超える来場者が訪れる同フェスティバルでは特に力が入っていた。